



TITLE:

[主要な教育研究設備]主要教育研究設備

AUTHOR(S):

CITATION:

[主要な教育研究設備]主要教育研究設備. 京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 2011, 2010年(平成22年): 5-5

ISSUE DATE:

2011-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/172683>

RIGHT:

天文台教員指導大学院生

- 博士課程

D3: 川道 俊見、大辻 賢一、滝澤 寛

D2: 川手 朋子、松本 仁、渡邊 皓子、Andrew Hillier (10 月より D3)

D1: 阿南 徹、羽田 裕子

- 修士課程

M2: 蔵本 哲也、車 信一郎、田中 淳平

M1: 玉澤 春史、西島 豪宏

学部生

- 課題研究

S2: 高棹 真介、中村 尚樹、吉永 祐介

S3: 古村 翔太郎、藤井 浩介

- 課題演習

C4: 下農 弘之、藤本 万寿人、福岡 隆敏

4 主要な教育研究設備

4.1 主要教育研究設備

飛騨天文台

60 cm 反射望遠鏡、65 cm 屈折望遠鏡、60 cm ドームレス太陽望遠鏡 (DST)、
太陽磁場活動望遠鏡 (SMART)

花山天文台

45 cm 屈折望遠鏡、70 cm シーロスタット太陽分光望遠鏡、
花山天体画像解析システム、18 cm 屈折太陽 H α 望遠鏡 (ザートリウス望遠鏡)

4.2 平成 22 年度の主な改修改良事項

(1) 飛騨天文台 SMART T4

2009 年に設計を行った T4 用新光学系の製作を行い、望遠鏡内への設置および光学調整を行った。製作にあたって、偏光観測を行うことを目的としているため、ビームスプリッタなど光学素子に圧力が加わると、その圧力により偏光成分に変化がでるなどの問題があるため、光学素子のホルダは光学素子と熱膨張係数が近いチタンを用いるなどの工夫をした。

(仲谷)